

## 建学の精神

- ・ 本学では、未来につながる課題を自ら設定し、それを解決することができる先端人材を輩出します。
- ・ 本学では、これからの社会が目指すべき姿を構想し、その実現に向けた諸課題の解決に繋がる先端学術研究を実践します。
- ・ 本学は、人材輩出・研究の実践を通じ、現在と未来の世界に先頭を切って貢献していきます。

## 建学の精神の実践

- ・ 未来社会を支える人材は、多様な価値観の存在する世界で活躍します。
- ・ 本学は、未来社会の姿を見通し、起こり得る新たな課題を洞観し、現在の諸課題と併せて世界に率先して解決する教育・研究活動を実践します。
- ・ 世界で通用する先進性・多様性・倫理観と、専門的知識・創造的思考力・洞察力・俯瞰力・幅広い教養を兼ね備えて、複雑で複合的な問題に挑戦できる人材を育てます。

## 教育目的

本学は、学園の建学の精神を踏まえて、教育基本法及び学校教育法に基づき、広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究し、未来につながる課題を自ら設定し、それを解決することができる先端人材を育成することを目的とする。

各学部・各学科の教育目的

| 学部・学科   | 学部・学科の教育目的   |
|---|--|
| <p>経済経営学部</p> <p>経済学科</p> <p>経営学科</p>   | <p>経済学・経営学を中心に法学分野の科目も配した実学重視の教育課程を通して、ビジネスパーソンとして必要な幅広い教養と高い専門性を兼ね備えた人材の育成を目的とする。</p> <p>経済学を中心に経営学・法学分野の科目も配し、ビジネスパーソンとして必要な幅広い教養と経済学の体系的な学修を通じて習得した広い視野をもって社会で活躍できる人材の育成を教育の目的とする。</p> <p>経営学を中心に経済学・法学分野の科目も配し、ビジネスパーソンとして必要な幅広い教養と実体験重視の学修を通じて、社会人として自立できる人材の育成を目的とする。</p>  |
| <p>人文学部</p> <p>心理学科</p> <p>歴史文化学科</p>   | <p>心理学と歴史学を中心とした人文学の諸分野の知識を身につけ新時代を担う新しい人材の育成を目的とする。</p> <p>心理学及び周辺分野の基礎的知識と技能を十分に体得し、それを企業や心理臨床などの現場において柔軟に応用、問題解決できる能力を持った人材を育成する。</p> <p>歴史学及び周辺分野の基礎的知識と調査研究技能を十分に体得し、それを実社会において問題解決に活用できる人材を育成する。</p>   |
| <p>バイオ環境学部</p> <p>生物環境科学科</p> <p>応用生命科学科</p> <p>バイオサイエンス学科</p> <p>バイオ環境デザイン学科</p> | <p>環境問題や資源・エネルギー問題の本質的な解決を図るため、バイオサイエンス分野の先端研究の成果や技術を生かし、国際連携や地域との協力のなかで「人とともに多様な生き物が共生できる環境(バイオ環境という)」を実現することができる人材を養成する。</p> <p>生物環境科学の知識や技術に基づき、人類や地球の直面する課題に対し科学的に対処できる幅広い視野及び判断力を備えた「生物環境科学技術者・研究者」を養成する。具体的には、生態学的知識、環境分析技術、環境再生、農産物の栽培・育種技術などを講義・実験・フィールド実習等を通じて幅広く教授することで、人と自然の共生に貢献できる環境専門家や農業技術者、研究者を養成する。</p> <p>応用生命科学の知識や技術に基づき、人類や地球の直面する課題に対し科学的に対処できる幅広い視野及び判断力を備えた「グリーンバイオ技術者・研究者」を養成する。具体的には、微生物、昆虫、植物、動物等の分子・遺伝子・細胞レベルから、食品加工、発酵・醸造並びに食品の機能性及び安全性に至る広範な応用生命科学領域において、幅広い知識や技術を講義・演習・実験等を通じて教授することで、環境と人々の健康に貢献できる技術者、研究者を養成する。</p> <p>環境と調和したグリーンバイオ技術の習得を教育目的とする。学生は動物、植物、昆虫、微生物、食品、遺伝子の領域におけるバイオの知識や技術を講義や実験を通じて広く学び、環境と人々の健康に貢献できるバイオ技術者を目指す。</p> <p>農・森林環境、水環境、都市環境などの共生空間における物質循環や動態とその景観に関する科学・技術に基づく環境デザイン力の養成を教育目的とする。学生は生態学的知識、環境分析技術、環境再生技術などを講義や実験、フィールド実習を通じて学び、人と自然の共生に貢献できる環境専門家やランドスケープデザイナーを目指す。</p> |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 食農学科               | 環境に配慮し、地域の特長を生かした農産物の生産や安全な食品の加工技術の習得を教育目的とする。学生は農産物の栽培育種、食品加工、発酵・醸造、食品の栄養価や安全性をバイオの知識と共に講義や実習を通じて学び、地域の活性化に貢献できる食と農の専門家を目指す。         |
| 健康医療学部             | 多様な健康状態、発達段階、生活環境にある人たちに対して専門的な支援を行い、人々の健康生活の実現と健康寿命の延伸に寄与する人材を育成することを目的とする。  |
| 看護学科               | 人間を総合的に捉え、尊重し、対象者に適した看護を実践するために必要な知識・技術と豊かな人間性、自律的に学び続ける力を備え、対象者の健康回復・増進を図るために主体的に考え行動できる看護職者の育成を目指す。                                 |
| 言語聴覚学科             | 言語、聴覚や摂食嚥下分野の基本的な評価と訓練・指導の技術を修得し、さらに基盤となる分野(科学)と幅広い分野(教養)の知識を備え、対象者の状態を理解し、リハビリテーションに関する問題を医師等多職種と連携しながら主体的に解決できる言語聴覚士の育成を目指す。        |
| 健康スポーツ学科           | 健康科学・スポーツ科学といった幅広い分野を融合させた学際的な先端教育研究によって、保健医療の知識や身体運動・スポーツに関わる実践的スキルを修得し、スポーツ教育・保健・福祉、そしてスポーツ・健康産業において、人々のウェルビーイングの実現に貢献する職業人の育成を目指す。 |
| 工学部<br>機械電気システム工学科 | 機械分野と電気分野に跨る専門分野の基礎知識を修得した上で、物事の本質を把握し論理的に思考する能力を身に付け、グローバルな視点で社会ニーズに基づく問題を発見し、自らの専門能力を総合的に駆使して適切に解決できる人材の育成を目的とする。                   |